

# 2018年3月期 決算説明会

2018年5月2日

株式会社プロルト丸光

# 目次

---

1. 会社概要

2. 決算ハイライト

3. 2018年3月期 決算概要

4. 2019年3月期 事業計画

5. 経営計画

# 目次

---

## 1. 会社概要

## 2. 決算ハイライト

## 3. 2018年3月期 決算概要

## 4. 2019年3月期 事業計画

## 5. 経営計画

# 1. 会社概要

---

- ◆プロルート丸光 : 創業118年周年を迎える小売店様を対象とした会員制の総合卸売業
- ◆登録会員小売店 : 約70,000件   ◆取引仕入先 : 約1,400件
- ◆東京証券取引所 : JASDAQ上場（1988年11月上場）
- ◆近年の事業展開 : インバウンドを対象とした免税事業  
中国市場への輸出貿易事業  
顧客の利便性向上のためのEC事業
- ◆連結子会社 : 株式会社サンマール  
トラッドスタイルを提唱する紳士ブランド「Kent House」を展開する

# 目次

---

1. 会社概要

**2. 決算ハイライト**

3. 2018年3月期 決算概要

4. 2019年3月期 事業計画

5. 経営計画

## 2. 決算ハイライト

---

- ◆ 5期振りの営業利益・経常利益黒字化
- ◆ 7期振りの復配
- ◆ 「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載解消

# 目次

---

1. 会社概要

2. 決算ハイライト

**3. 2018年3月期 決算概要**

4. 2019年3月期 事業計画

5. 経営計画

### 3. 2018年3月期 決算概要

#### 2018年3月期連結決算損益（対前期比）

（単位：百万円）

	2018 / 3月期	2017 / 3月期	前期比 増減率	
売上高	10,187	11,041	△ 854	-7.7%
売上原価	7,844	8,589	△ 745	-8.7%
売上総利益	2,342	2,451	△ 109	-4.4%
販管費	2,269	2,469	△ 200	-8.1%
営業利益	73	△ 17	91	—
経常利益	37	△ 177	214	—
親会社株主に帰属する当期純利益	38	261	△ 225	-85.2%

◆主力のWS事業において、不採算部門の統廃合を行ったことにより、売上高は前年比減少となったが、営業利益及び経常利益においては、売上総利益率の向上や事業構造改革によるコスト削減等により前年を大きく上回る結果となった。



## 3. 2018年3月期 決算概要

---

### 2018年3月期連結決算損益（対前期比）

1. 重複感のある売場の統合や収益性の低い売場の廃止  
⇒卸売事業の売上総利益率前期比0.5%改善
2. 奈良県天理市の物流センターでの出荷等に係る業務を完全内製化（昨年までは業務委託会社が運営）  
⇒人員採用により人件費は増加するも、業務委託費の削減により、トータルで75百万円の削減効果

主に1. 2により、卸売事業セグメント利益 18.6%の増加

3. 免税事業の来店バス台数1,596台（前年比**201.5%**）、来客人数31,244人（前年比**159.0%**）  
売上高397百万円（前年比**198.0%**）と進捗しており、免税事業セグメント損失も31百万円の改善
4. 固定資産の譲渡資金を原資とした有利子負債の圧縮及び金融コストの低減の実現  
有利子負債63億円の圧縮により支払利息122百万円の削減

## 3. 2018年3月期 決算概要

### 過去3期連結決算損益

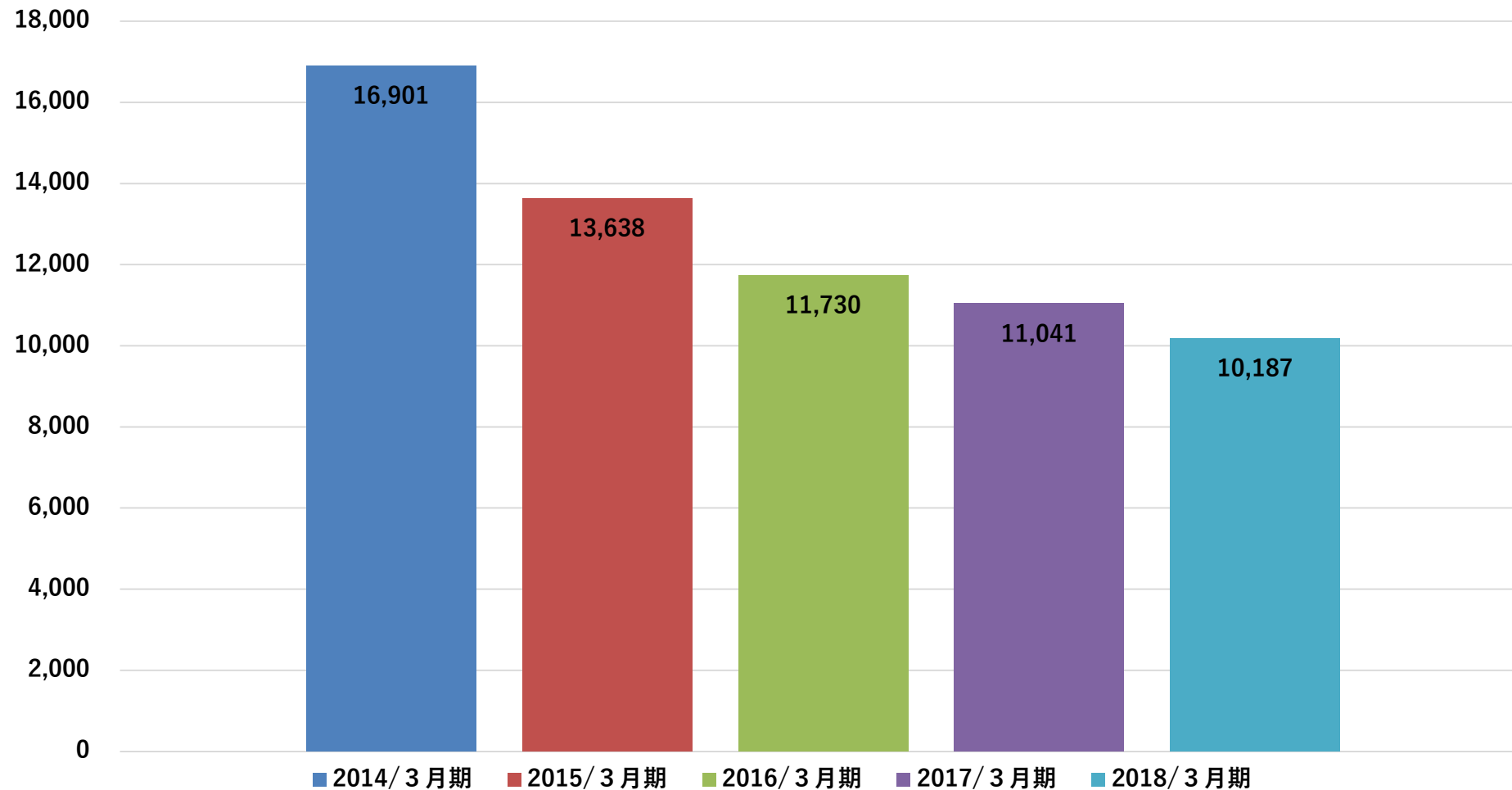
(単位：百万円)

	2016/3月期		2015/3月期		2014/3月期	
		売上比		売上比		売上比
売上高	11,730		13,638		16,901	
売上原価	9,228	78.7%	10,722	78.6%	13,224	78.2%
売上総利益	2,502	21.3%	2,915	21.4%	3,677	21.8%
販管費	2,821	24.0%	3,039	22.3%	3,720	22.0%
営業利益	△ 319	△ 2.7%	△ 123	△ 0.9%	△ 43	△ 0.3%
経常利益	△ 457	△ 3.9%	△ 253	△ 1.9%	△ 186	△ 1.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 466	△ 4.0%	△ 228	△ 1.7%	△ 576	△ 3.4%

## 3. 2018年3月期 決算概要

### 過去 5 期連結売上高推移

(単位：百万円)

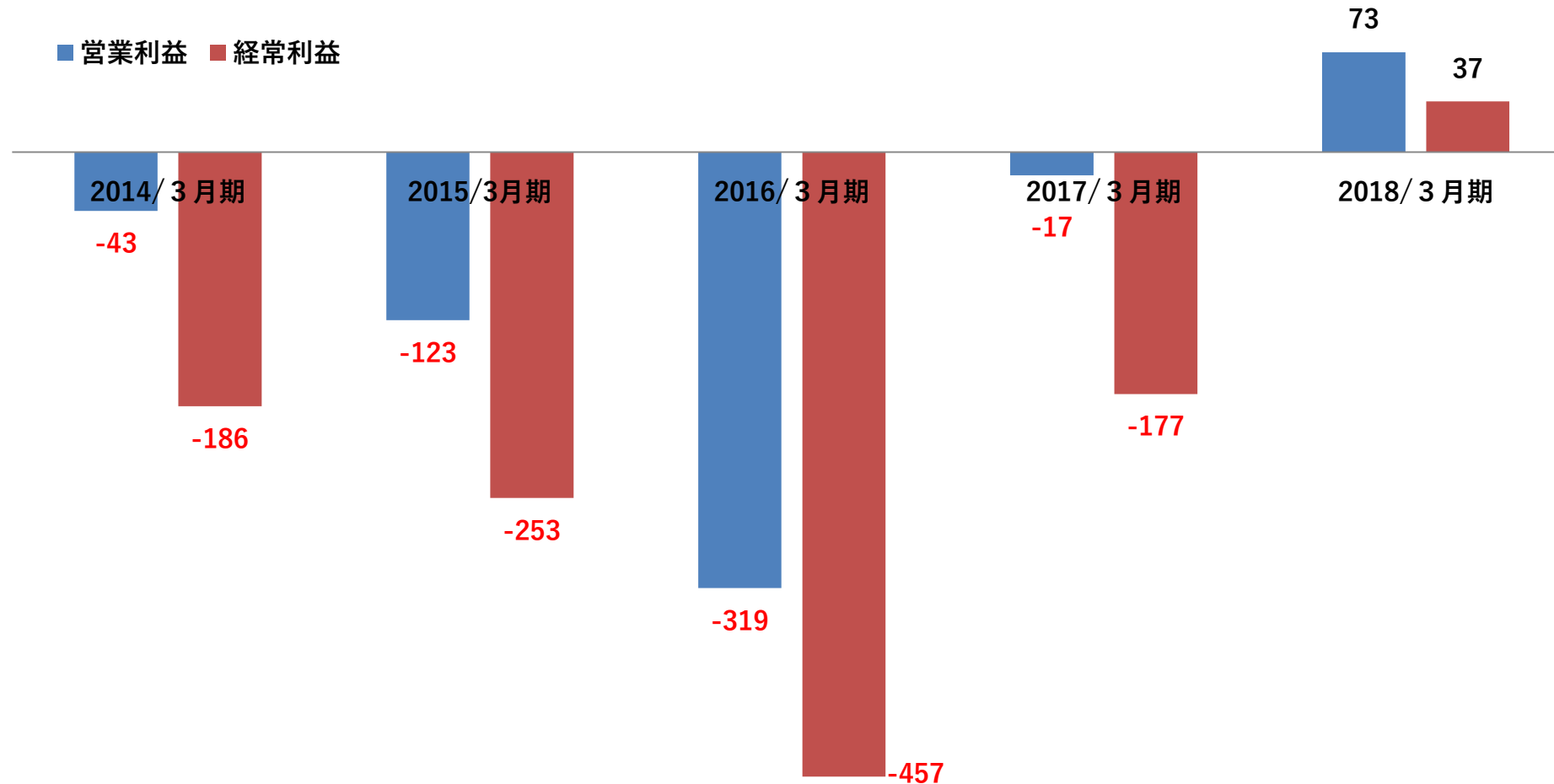


# 3. 2018年3月期 決算概要

## 営業利益・経常利益推移（連結）

◆事業構造改革により着実に収益を改善

（単位：百万円）



## 3. 2018年3月期 決算概要

### 2018年3月期連結貸借対照表（対前年比）

（単位：百万円）

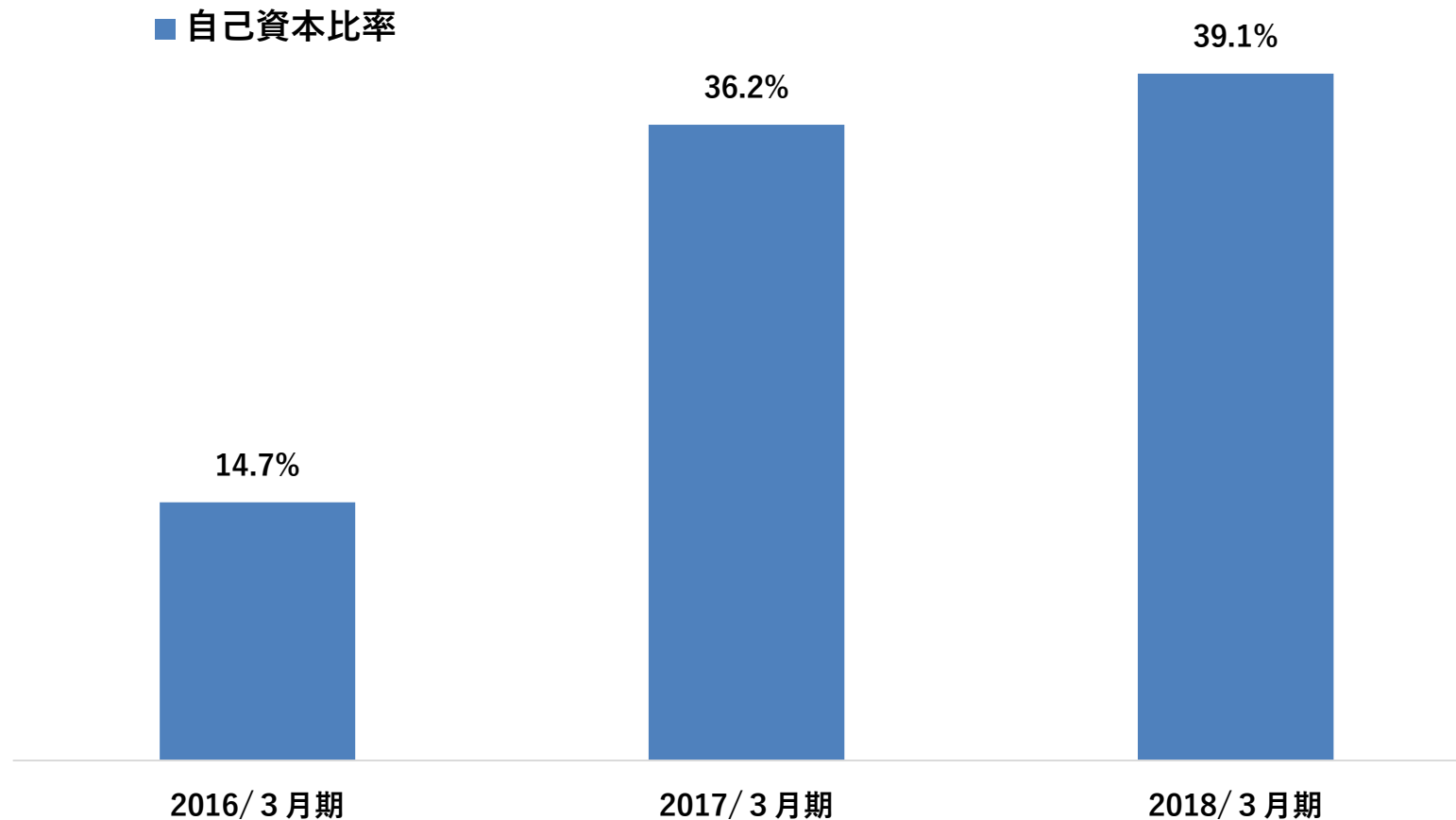
	2018年3月期	2017年3月期	増減額
<b>資産の部</b>			
流動資産	4,113	4,412	△ 298
固定資産	1,073	1,078	△ 4
資産合計	5,187	5,490	△ 303
<b>負債の部</b>			
流動負債	2,329	2,442	△ 112
固定負債	831	1,060	△ 228
負債合計	3,161	3,502	△ 341
<b>純資産の部</b>			
株主資本	2,032	1,993	38
その他の包括利益累計額	△ 6	△ 5	0
純資産合計	2,025	1,988	37
<b>負債・純資産合計</b>	<b>5,187</b>	<b>5,490</b>	<b>△ 303</b>

◆親会社株主に帰属する当期純利益38百万円の計上により、純資産増加

## 3. 2018年3月期 決算概要

### 自己資本比率推移（連結）

◆収益改善、有利子負債圧縮等による財務体質改善により自己資本比率も向上



# 目次

---

1. 会社概要

2. 決算ハイライト

3. 2018年3月期 決算概要

**4. 2019年3月期 事業計画**

5. 経営計画

## 4. 2019年3月期 事業計画

### 2019年3月期連結業績計画

(単位：百万円)

	2019/3月期		2018/3月期		対前年	
	売上高	売上比	売上高	売上比	増減額	前期比増減率
売上高	9,900		10,187		△ 287	-2.8%
売上原価	7,590	76.7%	7,844	77.0%	△ 254	-3.2%
売上総利益	2,310	23.3%	2,342	23.0%	△ 32	-1.4%
販管費	2,210	22.3%	2,269	22.3%	△ 59	-2.6%
営業利益	100	1.0%	73	0.7%	27	35.9%
経常利益	50	0.5%	37	0.4%	13	33.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	43	0.4%	38	0.4%	5	11.7%

- ◆既存の卸売上は市場縮小の影響を見込むも、外販強化などの営業手法の改革を進める
- ◆免税事業、貿易事業、EC事業については着実な底上げを目論む
- ◆その他業務改善、コスト削減を継続し黒字安定化を目指す



# 目次

---

1. 会社概要

2. 決算ハイライト

3. 2018年3月期 決算概要

4. 2019年3月期 事業計画

**5. 経営計画**

## 5. 経営計画

---

### 次期に向けてのトピックス

#### 1. 新規事業として、

グローバルなオンラインプラットフォーム事業に着手 \*詳細は新規事業説明資料

#### 2. 中国事業への本格的着手

① 「河南省輸入物資公共保税中心集团有限公司」ならびに

「株式会社道紀忠華シンクタンク」との業務提携に基づいた、輸出入ビジネスへの本格的着手

② 業務提携に向けた合意書を締結した「中国供销集団」との輸出入ビジネスへの本格的着手

## 免責事項

---

本資料は、会社内容をご理解いただくための資料であり、投資勧誘を目的とするものではありません。

本資料に記載されている業績予想及び将来予測につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。

予想にはさまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの将来見通しと異なる場合があります。